

# 3・11から未来



東京電力福島第一原発事故から6年がたとうとしています。福島県からの避難者は、福島県発表で84,000人(2016年11月現在)。多くの人たちがふるさとを失い苦しめ避難生活を送っています。一方、現行の災害救助法に基づく住宅提供は2017年3月で打ち切られ、復興の掛け声のもとに帰還が進められています。

**東電の救済と原発延命**のために、国民や電力ユーザーからの費用負担の仕組みがつくられようとしている中、避難者の救済のためにはお金が使われていない実態があります。

海外に目を転じれば、日本からの原発輸出が予定されていたベトナムでは、国会議員の92%の賛同のもと、原発計画撤回が決まりました。一方で、核保有国で、核不拡散条約(NPT)にも核実験禁止条約(CTBT)にも加盟していないインドとの間で原子力協定が締結され、原発輸出が進められようとしています。こうした情勢を分析しつつ、FoE Japanの報告会を行います。

2016年春、ドイツに旅立った福島の若者も発言！ ぜひお誘いあわせの上、お越しください。

報告者： 吉田明子、満田夏花、矢野恵理子、  
深草亜悠美、福島の大学生

申し込み： 件名を「1.21 報告会参加」として、  
下記宛てに①ご氏名、②ご所属、  
③ご連絡先電話番号・E-mail アドレスをご連絡ください。

E-mail : info@foejapan.org ファックス : 03-6909-5986

主催： 国際環境NGO FoE Japan (認定NPO法人)

〒173-0037 東京都板橋区小茂根1-21-9

Tel : 03-6909-5983 Fax : 03-6909-5986

参加費  
**500円**

カンパ  
歓迎

郵便振替口：00130-2-68026 口座名：FoE Japan  
通信欄に、「脱原発への寄付」とご明記の上、  
住所、氏名をお忘れなくご記入ください。

なぜ  
ベトナムは  
原発計画を撤回したのか？

福島原発  
事故被害者 のいま

ストップ！ 原発延命策  
パワーシフトキャンペーンの取り組みから

福島の若者たち  
ドイツに旅立った

核なき世界に赤信号  
日印原子力協定の問題点  
いつきに報告！

2017年1月21日

13:45～16:30(開場 / 13:20)

文京区男女平等センター

(最寄り駅：本郷三丁目 東京都文京区本郷 4-8-3)

